

表彰される

愛國秘話、「敵艦見ゆ」

四漁民の決死的活躍

皇國の興廢をこの一戦に賭け東郷大將の率ゐるわが聯合艦隊が、大舉襲來した露國のバルチック艦隊を要擊し全滅させた日本海々戰、今を去る卅年前の五月廿七日、その輝かしい海戦史の第一ページを飾る「敵艦見ゆ」の感涙の信號となつた嗚早信丸のバルチック艦隊を見立つて四日、遙早く一漁船が敵の艦隊を認め、祖国の急を知つかる琉球の一小島から決死の四青年が選ばれて、一片のくり舟を操り荒海六十里漕破の大冒險を敢行して急を聯合艦隊に報じたが必死の力も電也及ばず信濃丸の「敵艦見ゆ」の信號を遞るも遂に敵史を飾るに至らず、村人の語り草として埋れてゐたといふ、日本海史を彩る勇士が此のほど識者に見出され、これ海の勇者の表彰が第卅周年海軍記念日を前にして大阪市愛日小學校長稻垣謙三郎氏、原海軍監督官、海軍大佐田中雄氏らを中心ぐに想起された。

・・・もしぞの日天候がよか至り、第二艦隊長官の實見

日本海々戰史の第一ページと密接な東郷長官は各司令官との四勇士の忠烈をもつて更待せずされることになつた。然に一段の光彩を放つことに在るに信濃丸は廿七日午前四時

つたであらう……と表彰運動

・・・と日本海軍監督官は

大正五年冲縄縣師範學校主事

として在任中、この愛國美談

を知り、漁村青年の誠忠い

なく感動し、これを世に公表

して青年教化の資料とすべく大正六年沖縄縣師範學校博士

に於ける忠告が三笠に達したの

甘五日、實に東郷長官の封密

重に問はれたのであつた。

・・・もしその日天候がよか

至り、第二艦隊長官の實見

日本海々戰史の第一ページと密接な東郷長官は各司令官との四勇士の忠烈をもつて更待せずされることになつた。然に一段の光彩を放つことに在るに信濃丸は廿七日午前四時

つたであらう……と表彰運動

・・・と日本海軍監督官は

大正五年冲縄縣師範學校主事

として在任中、この愛國美談

を知り、漁村青年の誠忠い

なく感動し、これを世に公表

して青年教化の資料とすべく大正六年沖縄縣師範學校博士

に於ける忠告が三笠に達したの

甘五日、實に東郷長官の封密

重に問はれたのであつた。

・・・もしその日天候がよか

至り、第二艦隊長官の實見

日本海々戰史の第一ページと密接な東郷長官は各司令官との四勇士の忠烈をもつて更待せずされることになつた。然に一段の光彩を放つことに在るに信濃丸は廿七日午前四時

つたであらう……と表彰運動

・・・と日本海軍監督官は

大正五年冲縄縣師範學校主事

として在任中、この愛國美談

を知り、漁村青年の誠忠い

なく感動し、これを世に公表

籍だけ学生

東西各大學に二百

當局徵兵忌避で告發

既報、大學ならびにその附屬

校學生の一部が單に陸軍省軍務局ではその後憲兵

を目的として不就

学のまま學籍をとめたもので

いたり、學校當局が暗に就學を要請して體調査をつづけ

たり、學校當局はその後憲兵

を警戒して體調査をつづけ

たり、學校當局が單にその後憲兵

を以ての徵兵に服されねばならぬ

ること、不就學學生を以ての徵兵

を出して、不就學學生の畢業

を否認することと決定

したこと、決定

したこと、決定

したこと、決定

したこと、決定

こと、決定

